

第 1 学年国語科学習指導案

単元名 相手や目的に応じて書こう

教材名 「分かりやすく書こう」(東京書籍 中学校 1 年)(参考...資料編「一枚レポート」)
「ハチドリの不思議」(東京書籍 中学校 1 年)

1 単元について

佐賀県の生徒の実態として、平成 21 年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果から、「読むこと」、「書くこと」、「言語事項」の 2 領域 1 事項に課題が見られた。特に「書くこと」では、「目的や意図に応じて、必要な情報を選択したり整理したりして書く」こと、「目的や意図に応じて、伝えたい事柄が相手に明確に伝わるように書く」ことに課題がある。そのため、年間指導計画の立案や単元構想に当たっては、この課題の克服を常に念頭において考える必要がある。生徒は、小学校で目的や意図に応じて詳しく書いたり簡単に書いたりすることや相手や目的を考えて必要な事柄を整理して書くことを学んできている。しかし、相手や目的に応じて、その書く形式を適切に選択したり、表現の工夫をしたりする経験に乏しいため、学んだことを生かして書くことはできていない。この課題を克服するためには、相手や目的、場面を設定し、それに応じた形式で書くという言語活動を行うことが有効だと考えられる。

そこで本単元では、まず、相手や目的に応じた形式について学ばせる。その上で必要な情報を選択して効果的に書くことを経験させるために、教科書教材の内容をリーフレットにまとめる言語活動を単元に位置付け、言語活動を通して課題の克服を目指す。

「分かりやすく書こう」は、観察したことなどの事実を正確に記録したり説明したりするといった、書くことの基本的な技能を押さえ、その定着を図ることを目的とした教材である。「時間の経過に沿って説明する。」「5W1Hを押さえて説明する。」「項目を立てて説明する。」「比較して説明する。」という 4 つの説明の仕方が提示されており、生徒の実態に応じて課題を設定するようになっている。1 年生では、特に、相手や目的、場面などに応じて、伝えるべき内容を明確に整理していくことを生徒に理解させることが重要である。本単元では、相手や目的、場面に合った形式について気付かせるという視点で本教材を利用し、伝えたいことを相手に明確に伝えるための表現の工夫についても学ばせたい。また、「ハチドリの不思議」は、11 の形式段落で構成されている。そして、三つの中心的な問いかけがなされており、個々の問いに続けてその答えを述べるという形で論が展開されていて、因果関係が分かりやすい。また、接続語や指示語を効果的に用いてあり、文のつながりを把握するのに適している。また、ハチドリの珍しい生態についての紹介もあり生徒が興味を引かれる内容である。このようなことから、この教材は、書かれている情報を整理する活動を行うことに適しており、相手や目的に応じて表現し、情報を伝達する文章を書く際の自分の表現の参考にもできる教材だといえる。これらの二つの教材の特徴を生かして単元構成を行う。

2 単元の指導目標

- (1) 目的に応じて必要な情報を集め、整理することができるようにする。
- (2) 目的や条件に応じて構成や表現を工夫させ、伝えたいことが明確に伝わるように書くことができるようにする。

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 書く能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
内容紹介用のリーフレットを書く言語活動を通じた指導〔B書くこと(2)イ〕		
1 リーフレットの形式を整えて、小学生にも内容が分かりやすく伝わるリーフレットを書こうとしている。	1 集めた情報を目的に応じて整理し、構成を考えて書いている。〔B書くこと(1)イ〕 2 相手や目的、場面に応じたまとめ方や表現で書くことができているか確かめることができている。〔B書くこと(1)エ〕	1 指示語や接続語及びこれらとおなじような働きをもつ語句などに注意して書いている。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(I)〕

4 指導と評価の計画（全 8 時間）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価の方法
一	1	1 相手に伝えたいことを分かりやすく書くための方法と、そのために必要な力について考える。 2 人に情報を伝えるために書かれた様々な形式の資料を読み比べて、それぞれの形式の特徴に気付く。	「分かりやすく書こう」を読み、提示されている形式や書き方の工夫を、目的や相手別にワークシートに整理する。 〔観点〕 ・目的 ・相手 ・書き方の工夫 事前に行った書く力に関するアンケートの結果を提示し、身に付けたい力について考えるように促す。 身近にあるレポートやポスター、パンフレットやリーフレット等を比較させ、その違いに気付かせる。	ア - 1 【ノートの記述内容】 【ワークシートの記述】
	2	3 相手や目的に合った形式に書き換える方法を知る。 4 学習目標を設定し、学習計画を立てる。	相手や目的の違いに応じて書かれた資料をモデルとして提示する 学習の流れを生徒が把握できるように配慮する。	ア - 1 【ワークシートの記述】
二	3	5 「ハチドリ不思議」の全文を通読し、何がどのように説明されているか把握する。	筆者の説明の仕方の特徴に着目させる。	イ - 1, ウ - 1 【ワークシートの記述】
		6 問題提起と答えに着目して情報を整理する。	問いと答えが書かれている部分に着目して、何がどのように説明されているか整理させる。	
	4	7 必要な情報を収集し、整理、編集する。	ワークシートを用いて、紹介する内容についての情報を整理、編集させる。 導入時を想起させ、目的に応じたレイアウトを考えさせる。	イ - 1 【ワークシートの記述】
		9 リーフレットに載せる情報を選択し、目的に合うような書き方にまとめる。 10 相手に応じた言葉遣いや表現の工夫をして、リーフレットを作成する。	事前に整理しておいた情報を、レイアウトに合わせた文章の長さや内容に書き換えさせる。 生徒用手引きや補助資料を活用させて、相手や目的に応じた工夫をさせる。	イ - 1, ウ - 1 【選んだ情報、ワークシートの記述、作品の分析】
6	11 読み手に分かりやすく伝えるための工夫をして、リーフレットを完成する。	読み手に伝えたいことを明確にして、それが効果的に伝わる表現の工夫をさせる。	イ - 2 【評価表の記述】 【作品の分析】	
三	7	12 グループでできたリーフレットを読み合い、評価し合う。	評価表の観点に従って相互評価をさせる。	イ - 2 【評価表の記述】
	8	13 自分のリーフレットを加筆修正する。 14 学習のまとめをする。	友達の評価や意見、リーフレットの書き方のよい点を参考に書き直させる。 学んだことを確認させ、他に生かせる場面を考えさせる。	ア - 1, イ - 2 【作品の分析、評価表、学習計画表の記述】

5 - 1 1 / 8 時の指導計画

(1) 指導目標

- ・相手や目的に応じたいろいろな表現方法に気付かせる。

(2) 展 開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 C の 状 況 に あ る 生 徒 へ の 手 立 て
導 入	<p>1 人に何かを伝えるための方法について考える。</p> <p>2 事前にとった書く力に関するアンケート結果を参考にして、自分が身に付けたい力について考える。</p>	アンケート 学習 計画表	<p>これまで、人に情報を知らせるためにどんな方法をとってきたか想起させる。</p> <p>身に付けるべき知識・技能を意識できるように、アンケート結果をグラフ化して提示する。 自分が身に付けたいと思う力を学習計画表に記入させる。</p>	
いろいろな説明や記録の形式について知り、違いに気付こう				
展 開	<p>3 教材1の具体例や身近にあるポスター、パンフレット、リーフレット等を観点に従って比較し、その違いに気付く。 〔観点〕 ・相手 ・目的 ・特徴（表現の工夫） 〔教科書の具体例〕 ・レポート・新聞 ・案内状・調査報告文</p> <p>4 気付きを学級で報告し合って、人に情報を伝えるための資料の特徴について全体でまとめる。</p>	<p>教材1 ワーク シート 具体物 (例示する資料) ・ポスター ・パンフレット ・リーフレット ・案内状 ・レポート</p> <p>ワーク シート</p>	<p>「分かりやすく書こう」の具体例と具体物を使って、説明や記録の仕方を、「相手」や「目的」や「特徴・表現の工夫」などの項目でワークシートに整理させる。 具体物を比較して気付いた違いをワークシートにできるだけたくさんメモするように促す。 友達と気付きを交換させ、特徴についての気付きを具体的に書かせるようにする。</p> <p>相手に伝えたいことを明確に伝えるために必要なことは何か、自分なりの考えをもたせるようにする。</p>	<p>ア - 1 リーフレットを書くために、相手に伝えたいことが分かりやすく伝わる説明や記録の仕方について具体的に見付けようとしている。 【ノートの記述】 【ワークシート の記述】</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">観点に合わせて気付きを書くよう指示し、書き方を具体的に例示する。</p>
ま と め	<p>6 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p>		<p>次時は、相手や目的に応じた表現の工夫について学習し、単元の学習計画を立てることを知らせる。</p>	

5 - 2 2 / 8 時の指導計画

(1) 指導目標

- ・相手や目的に応じた表現の仕方や工夫について考えさせる。
- ・学習計画(見通し)を立てさせる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 本時の目標を知る。		前時の学習内容を想起させ、本時の目標と学習の流れを確認させる。	
	相手や目的に応じた書き方や表現の工夫について知ろう			
展 開	2 リーフレットモデルを利用して、相手や目的に応じた適切な表現の仕方について考える。 ・同じテーマで異なる相手や目的で書かれた二つの資料を比較して、違いに気付く。 ・気付きをグループで共有しまとめる。 〔比較の観点〕 ・相手 ・目的 ・形式 ・特徴	リーフレットモデル ワークシート	リーフレットモデルと基になった説明文を比較することで、違いに気付かせる。 同じテーマでも、相手や目的が異なると伝達の形や表現の仕方が違うことに気付くよう、比較の観点に従って考えさせる。 必ず自分の気付きをメモし、それを基にグループで話し合うように指示する。	ア - 1 相手に分かりやすいリーフレットを書くために相手や目的に応じた書き方や表現の工夫について考えようとしている。 【話し合いの観察】 【ワークシート の記述】 友達の見解を参考にして自分なりに違いを見つけるように指示する。
	3 リーフレットを作るのにどのような作業が必要で、留意点は何かを考える。	学習計画表 生徒用 手引き (「学習計画を立てよう」)	リーフレットの具体例を参考にして、作成のための手順と気を付けることを具体的に考えるよう指示する。 今回は初めてリーフレットを作成するので、最も一般的な三つ折りの形で作成するが、さまざまな形や特徴があることにも触れておく。	
	4 これからの学習について見通しをもち、学習計画を立てる。		初めて学習計画を立てるので、形式を示し、その中の一部分をグループで考えさせるようにする。	
ま と め	5 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。 6 自己評価をする。	学習計画表	「ハチドリ不思議」を読み、必要な情報を整理して紹介用リーフレットを作成することを知らせる。	

5 - 3 3 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・文章を読んで、問題提起と答えに着目して情報を整理させる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 学習計画表を確認し、 本時の目標を知る。	学習 計画表	学習計画表を見て、授業 の流れを確認させる。	
	文章を読んで、書いてある情報を整理しよう			
展 開	2 「ハチドリ不思議」 を通読し、タイトルを参 考にして話題の中心が 何かを考えながら内容 を一通り読み取る。	ワーク シート	何がどのように書かれて いるのか、話題の中心は何 かなど、内容紹介に必要な 情報に注目させる。 情報を収集するとき困ら ないよう、新出漢字や読め ない漢字、注意する語句に ついてはその都度確認さ せる。	
	3 本文の情報を問題提 起と答えに着目して読 み分け、内容紹介に必要 な情報を整理する。 ・「なぜなら」「つまり」 といった接続語に注 目して、書かれている 内容を整理する。 (問題提起に対する答 え、その理由をひと まとまりで理解す る。) ・タイトルを参考にし ながら話題の中心が 何か確認する。 ・内容紹介をするのに 必要だと思う部分に マーキングする。	ワーク シート マーカ ーペン	どんな情報がどのような 流れで説明されているか 把握させる。 内容紹介をするのに必要 だと思う情報が書かれて いる部分にマーカーで色 を付けながら読ませる。	イ - 1 集めた情報を目的に 応じて整理することができ ている。 【ワークシート の記述】 【活動の観察】 整理する項目のはっきり分 かるワークシートを使用 し、細かく指示と助言をす る。 ウ - 1 指示語や接続語及び これらと同じような働きを もつ語句などに注意して情 報を整理している。 【ワークシート の記述】 【活動の観察】 指示語や接続語に着目して 読むよう助言する。
ま と め	4 本時の振り返りをし、 次時の見通しをもつ。 5 自己評価をする。	学習 計画表	次時は、情報の取捨選択 と紙面構成を行うことを 知らせる。	

5 - 4 4 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・集めた情報を，作成する資料の目的や意図に応じて，整理，編集させる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 学習計画表を確認し， 本時の目標を知る。	学習 計画表	学習計画表を見て，授業 の流れを確認させる。	
	集めた情報を整理，編集して，レイアウトを考えよう			
展 開	2 内容紹介をするのに 必要な情報を選び，整理 する。 3 整理した情報を作成 するリーフレットの相 手と目的に合わせて書 き換える。 〔相手〕小学6年生 〔目的〕内容紹介 ・前時に整理した情報 ごとに要約したり，加 工したりして，付せん にまとめる。 ・作成する資料の目的 や編集意図を確かめ て，それに合った表現 の工夫をする。 4 読み手に分かりやす いように，どの情報をど こに配置するか考え，付 せんをはっておおまか なレイアウトを行う。	ワー クシ ート ワー クシ ート 付せん 生徒用 手引き (要点ま とめ) ワー クシ ート 付せん	前時に色分けをした情報 をどのように紹介するの か具体的にワークシート に記入するよう指示す る。 「書き方のポイント」を示 して考えさせる。 〔書き方のポイント〕 形式に合った文章の長さか。 相手に応じた言葉遣いか。 図表やイラストなどに加工 した方が分かりやすい部分 はないか。 分かりやすい項目立てや キャッチコピー，図表の活 用によってより編集意図 に合う内容になるように 意識させる。 整理した情報をリーフレ ットのどこにどのように 配置するかを考えさせる ために，付せんを使って考 える方法を例示する。	イ - 1 相手に伝えたい情報 を集め，目的に応じて整理 して書くことができている。 【付せんへの記述】 【ワークシート の記述】 【活動の観察】 生徒用手引きを活用するよ うに指示し，項目ごとに具 体的なアドバイスをする。
ま と め	5 本時の振り返りをし， 次時の見通しをもつ。 6 自己評価をする。	学習 計画表	次時はレイアウト案に従 って資料の作成を行うこ とを知らせる。	

5 - 5 5 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・効果的な表現の工夫を意識させながら，リーフレットを作成させる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 学習計画表を確認し， 本時の目標を知る。	学習 計画表	学習計画表を見て，授業 の流れを確認させる。	
	効果的な表現の工夫をして，リーフレットを作成しよう。			
展 開	2 作成するリーフレット の目的や意図に応じた レイアウト(紙面構 成)を考える。	ワーク シート 付せん 補助資 料 (具体 物)	導入時にまとめたワーク シート や補助資料(具体 物)を参考にして，自分が 作成するリーフレットの レイアウトを考えさせる。	イ - 1 相手に分かりやすい 構成を考えて書くことが できている。 【ワークシート の記述】 【活動の観察】 具体物や補助資料など，ま とめ方の例を具体的に提示 する。
	3 レイアウト案に従っ てリーフレットを作成 する。	ワーク シート 付せん 清書用 紙	相手と目的を想起させ，そ れに応じた表現の工夫を 取り入れるよう確認する。 ワークシート に付せん を使って考えたレイアウト 案に従って書くが，新た な工夫点に気付いたら積 極的に取り入れるように 指示する。	ウ - 1 相手に分かりやすい 文章になるよう，語句を選 んで書くことができている。 【ワークシート ，付せんの 記述】 【活動の観察】 分かりやすい文例を示した り，友達の表現を参考にす るよう指示する。
ま と め	4 本時の振り返りをし， 次時の見通しをもつ。		次時は効果的な表現の工 夫を意識しながら，リーフ レットを作成することを 知らせる。	
	5 自己評価をする。	学習 計画表		

5 - 6 6 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・学んだことを活用して、小学生にも内容が分かりやすいリーフレットを完成させる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 学習計画表を確認し、 本時の目標を知る。	学習 計画表	学習計画表を見て、授業 の流れを確認させる。	
	相手に伝えたいことが明確に伝わる工夫をしてリーフレットを完成させよう			
展 開	2 配色や書き方を工夫 してリーフレットを仕 上げる。 〔書き方のポイント〕 形式に合った文章の長さ か。 相手に応じた言葉遣い か。 図表やイラストなどに加 工した部分は分かりやす い内容か。 3 完成したリーフレッ トを自己評価し、工夫し た点について評価表に まとめる。	清書用 紙 評価表 教師用 補助資 料 ワーク シート	「書き方のポイント」に照 らし合わせて、文章が適切 か、図表や挿入した情報等 が分かりやすいかを見直 させ、語句の使い方につ いても確認させる。 読み手の興味を引くよう、 配色や配置にも気を配ら せる。 後で加筆修正が加えられ るように、文章表記の部分 は鉛筆で書かせておく。 相手や目的に応じた書き 方ができたか、伝えたいこ とが相手に伝わるように 工夫して書くことができ たかを自己評価させる。 ワークシート を振り返 らせ、確かめる観点を具 体的に指示する。	イ - 2 自分が書いた文章に ついて、相手や目的に応じ たまとめ方や表現ができ ているか確かめることが できている。 【評価表の記述】 【作品の分析】 友達の評価を例示して、参 考にするよう助言する。
ま と め	4 本時の振り返りをし、 次時の見通しをもつ。 5 自己評価をする。	学習 計画表	次時は、グループ発表会で 相互評価と意見交流を行 うことを知らせる。	

5 - 7 7 / 8 時の指導計画

(1) 指導目標

- ・グループ発表会で，相互評価を通して，自分と友達のリーフレットの工夫に気付かせる。

(2) 展 開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 C の 状 況 に あ る 生 徒 へ の 手 立 て
導 入	1 学習計画表を確認し， 本時の目標を知る。		学習計画表を見て，授業 の流れを確認させる。	
	グループ発表会で紹介し合い，お互いに評価し合おう			
展 開	2 グループ発表会の進 め方について確認する。	清書用 紙 評価表	グループ全員が自分が 作成した資料を紹介し， お互いに評価し合うこ とを知らせる。	
	3 グループ内で作成し たリーフレットを紹介 し合い，相手や目的に応 じたまとめ方や表現の 工夫ができているか，お 互いに評価する。 ・評価表を活用して次 の手順で評価を行う。 〔手順〕 紹介(工夫した点) 相互評価 ・紹介を聞いた後， 評価の観点に従っ て評価する。 ・よい点とアドバイ スを文章で評価表に 記入する。 自己評価 ・友達の評価を確認し た後，修正点を中心 に評価表に記入す る。	清書用 紙 評価表	友達の作品を評価する ことを通して，目的や相 手に応じたまとめ方や 表現の工夫点の多様さ に気付かせるようにす る。 友達と自分の作品を比 較することで，自分のま とめ方や表現の工夫の よさや改善点に気付か せる。 評価の書き方の例を示 すなどして，気付いたこ とをできるだけ具体的 に書くように指示する。	イ - 2 相手や目的に応じた まとめ方や表現の工夫をし て書いているか確かめるこ とができている。 【評価表，付せんの記述】 評価表に示している評価の 観点に従って評価すること を助言する。
ま と め	5 本時の振り返りをし， 次時の見通しをもつ。 6 自己評価をする。	学習 計画表	次時は自分が作成した 資料に加筆修正を行い， 本単元の学習の振り返 りをすることを知らせ る。	

5 - 8 8 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・本単元の学習を振り返り，身に付けた力を確かめさせる。

(2) 展 開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 学習計画表を確認し， 本時の目標を知る。	学習 計画表	学習計画表を見て，授業 の流れを確認させる。	
	学習を振り返り，学んだことを生活に生かそう			
展	2 グループ以外の人 のリーフレットを鑑賞 する。	評価表	グループ以外の人 が作成したリーフレ ットを見て，よいと ころや参考になる 点を記録させる。	
	3 自分のリーフレ ットに加筆修正を する。	評価表 清書用 紙	相互評価をして 気付いたことや， 友達の作品のよ いところを参考 にさせる。	イ - 2 小学生にも 内容が分かりやす く伝わる表現や 構成になっている か確かめること ができています。 【評価表の記述， 作業の観察， 作品の記述】
開	4 学習計画表やワ ークシート，作成 した資料，評価表 などを活用して， 本単元の学習を 振り返る。 〔振り返りの視 点〕 ・作成したリー フレットについて ・この学習で身 に付いた力につ いて ・この学習で身 に付いた力を使 ってできること について	学習 計画表 ワーク シート 清書用 紙 評価表	本単元の学習を 振り返らせ，身 に付けた力を具 体的に学習計画 表の記入欄に書 くように指示す る。 グループ内で意 見交換をさせ ，まとめさせる。	ア - 1 相手や目 的に応じたまと め方や表現の工 夫をして，小学 生にも内容が分 かりやすく伝わ るリーフレット を書こうとして います。 【作品の分析】 【評価表の記述】 【学習計画表の 反省】
	5 身に付けた力 を活用した学習 について考える。		身に付けた力の 活用場面を具 体的に考えるこ とで，次の学習 への意欲をもた せる。	例を示して，具 体的に書くよう 助言する。
ま と め	6 本時の振り返 りをして，次時 の見通しをもつ。		次の学習への 見通しをもた せる。	
	7 自己評価を する。	学習 計画表		